

製品名: DDX20 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81575**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	92.2kDa

抗原情報

遺伝子名	DDX20
別名	DP103; GEMIN3
遺伝子 ID	11218.0
SwissProt ID	Q9UHI6
免疫原	大腸菌で発現したヒト DDX20 (AA: 725-824) の精製された組み換え断片。

背景

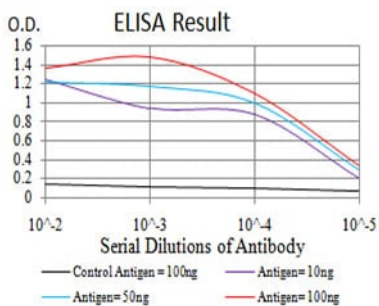
DEAD ボックスタンパク質は、保存された Asp-Glu-Ala-Asp (DEAD) モチーフを特徴とし、RNA ヘリカーゼと推定される。翻訳開始、核およびミトコンドリアのスプライシング、リボソームおよびスプライソソームの組み立てなど、RNA 二次構造の変化を伴う多

くの細胞プロセスに關与している。分布パターンに基づき、このファミリーの一部のメンバーは、胚発生、精子形成、細胞の成長および分裂に關与していると考えられている。この遺伝子は、ATPase 活性を有し、運動ニューロン生存 (SMN) 複合体の構成要素である DEAD ボックスタンパク質をコードしている。このタンパク質は、脊髄性筋萎縮症遺伝子産物である SMN と直接相互作用し、RNP 上で SMN 複合体の機能において触媒的な役割を果たす可能性がある。

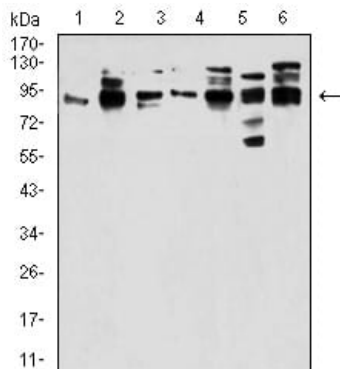
研究分野

-

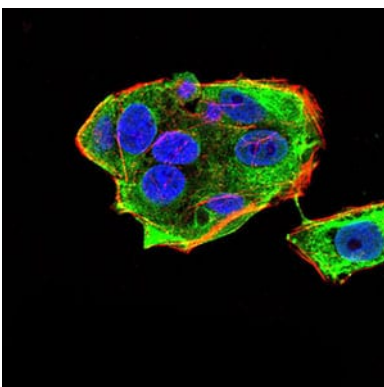
画像データ



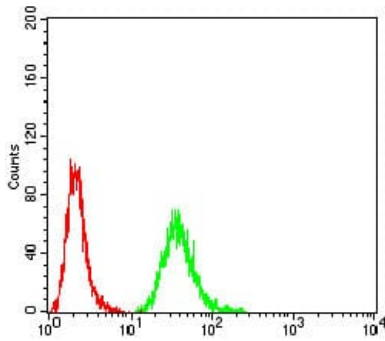
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Jurkat (1)、Hela (2)、NTERA-2 (3)、HL7702 (4)、K562 (5)、および C6 (6) 細胞溶解物に対する DDX20 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



DDX20 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DDX20 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。